

# 平成二十年度事業報告

## 1、教化研究会議

### 【1】第四十一回中央教化研究会議

期 日 平成二十年九月十日(水)・十一日(木)

会 場 日蓮宗務院

宿 舎 品川プリンスホテルイーストタワー

参加人数 一六三名

資料展示 教区教研や教化センターが作成・発行し

た教化資料・発行物の展示を実施。

テーマ

日蓮宗の教化学を考える―「立正安国」の精神

をどう伝えるか

開催趣旨(開催要綱原文のまま)

今回の中央教研では、国家と宗教との関係性の在り方について、戦後の日本の政教分離原則について疑問を呈し、政治思想としての仏教の側面に着目している比較宗教学者の保坂俊司中央大学教

授に、そして、戦後、日蓮宗や日蓮門下が「立正安国」の精神をどのように伝えて来たのかについて、宗教社会学の第一人者であり、日蓮思想にも造詣の深い西山茂東洋大学教授に、それぞれ御講演頂いた上で、三つの分科会でそれぞれの観点から討議し、「立正安国」の精神を如何に伝えるかについて、考えてみたいと思います。

開催方式(開催要綱原文のまま)

- ①基調講演Ⅰ 保坂俊司氏(中央大学教授)
- ②基調講演Ⅱ 西山 茂氏(東洋大学教授)
- ③現宗研通年研究調査事項に連動した三分科会に分かれ、

1. 現代と教学…「立正安国」が目指すものは何か

2. 教団・教化…日常生活の中で「立正安国」をどう活かすか

3. 現代社会：現代社会を具体的にどう教化して行くか

―布教の実践、教師としての社会参加、現代社会へのアプローチ

の視点から検討し、具体的な提案にまとめます。

④全体会議で三分科会の報告を聞き、テーマ「日蓮宗の教化学を考える―『立正安国』の精神をどう伝えるか」に即して総括します。

## 日程

第一日目 九月十日（水）

受付 一〇時〇〇分  
 開会式 一〇時三〇分  
 基調講演Ⅰ 一一時〇〇分～一二時三〇分  
 質疑応答 一二時三〇分～一二時四五分  
 写真撮影 一二時四五分～一二時五五分  
 昼食 一二時五五分～一三時三〇分  
 基調講演Ⅱ 一三時三〇分～一五時〇〇分  
 質疑応答 一五時〇〇分～一五時一五分  
 移動 一五時一五分～一五時三〇分

分科会 一五時三〇分～一七時〇〇分  
 移動 一七時一五分

夕食会 一八時三〇分～二〇時〇〇分  
 第二日目 九月十一日（木）

朝食

移動 八時〇〇分

分科会 九時〇〇分～一二時〇〇分

昼食 一二時〇〇分～一三時〇〇分

全体会議 一三時〇〇分～一四時三〇分

閉会式 一四時三〇分～一四時四五分

解散 一四時四五分

## 参加者

教区教研運営委員、或いは内容に関心がある教師（管区一名必ず参加のこと。二名以上参加ご希望の場合は、宗務所からあらかじめ日蓮宗現代宗教研究所へご一報ください）。

## 【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

●第二十八回九州教区教化研究会議

六月四日～五日 福岡県福岡市 アイピーホテル  
福岡にて

テーマ「日蓮宗が今、目指すべきものⅡ内部環境  
の再確認Ⅱ」

パネルディスカッション

第一分科会「寺院運営、少子高齢化・過疎化の中  
でのお寺の運営」

第二分科会「子弟教育、僧風教育の今後」

第三分科会「情報整理、ネット活用―PART2  
―」

全体会議

●第三十二回中四国教区教化研究会議

六月二十五日～二十六日

香川県丸亀市 オークラホテル丸亀にて

テーマ 日蓮宗の教化学を考える―宗教者と社会  
の関わり―

「社会に奉仕する教師を目指して」

基調講演「カウセリングと私」

銅子龍賢師（京都府法華寺住職）

4分散会

全体会議

●第三十八回近畿教区教化研究会議

六月二十五日 京都府京都市 京都テルサにて

テーマ「立正安国・教団が危ない」

基調講演「墓離れ、葬式離れ、寺離れの現実」

「お葬式が消えていく」小谷 みどり氏  
（第一生命経済研究所副主任研究員）

3分散会「三離れ（墓・葬・寺）の中での宗門運

動とは!？」

全体会議

●第三十二回北海道教区教化研究会議

八月二十六日 北海道旭川市 妙法寺にて

テーマ「裁判員制度に臨む」裁判員に選ばれた時、  
私ならどうする」

基調講演「裁判員制度に臨む」裁判員に選ばれた  
時、私ならどうする」

長谷川 正浩師（日蓮宗顧問弁護士・

愛知県蘇東教会担任）

旭川地方裁判所にて模擬裁判

●第二十七回東北教区教化研究会議

九月十六日～十七日

青森県青森市 アップルパレス青森にて

テーマ「いのちに合掌―生命尊重社会の実現に向

かって」

基調講演「自死対策『僧侶でもできること』と

『僧侶しかできないこと』」柴田寛彦師

(秋田県本澄寺住職)

3分散会1「自殺者の家族に対するアフターケア

について」

2「いのちの悩み相談所」としてお寺で

できる事(具体的対応について)

3「社会に対して『命の尊重』を訴える

には」

全体会議

●第三十二回中部教区教化研究会議

十月三十日

愛知県名古屋市 クラウンホテルにて

テーマ「現代へのアプローチ」―開教師の布教方

法に学ぶ―

基調講演「現代へのアプローチ」―開教師の布教

方法に学ぶ―

金井勝海師(北米開教区長・東京都立

正結社前教導)

3分散会

全体会議

●第二十五回北陸教区教化研究会議

十一月二十六日

福井県越前市 武生商工会議所にて

基調講演「仏教テレフォン相談員から見た一般檀

信徒の寺院への思い」

～寺院に対してのクレームを考える～

岩田親静師(千葉県本休寺住職・現宗

研究員)

3分散会

全体会議

●第三十三回京浜教区教化研究会議

平成二十一年二月二十日

東京都千代田区 アルカディア市ヶ谷にて

テーマ「変貌する『いのち』」

基調講演Ⅰ「生命科学の現状と展望」

福岡伸一氏（青山学院教授）

基調講演Ⅱ「今『いのち』を考えると」

田澤元泰師（現宗研所長・千葉県妙

弘寺住職）

3分散会

全体会議

●第二十六回千葉教区教化研究会議

平成二十一年二月二十五日

千葉県浦安市 浦安ブライトンホテルにて

テーマ「いのちに合掌―私の教化活動―」

基調講演Ⅰ 鈴木啓之牧師（千葉県シロアムキリ

スト教会主任牧師）

基調講演Ⅱ 浜島典彦師（東京都修性院住職）

全体会議

●第十五回北関東教区教化研究会議

平成二十一年三月二日

埼玉県さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野にて

テーマ「日蓮宗の化学をを考える」―現代的で身

近な教化法とは―

基調講演Ⅰ「葬送や墓の変容と寺院への影響」

小谷みどり氏（第一生命経済研究所

主任研究員）

基調講演Ⅱ「信者獲得の手法」

高佐宣長師（現宗研主任・東京都善

行院住職）

3分散会

全体会議

●第三十三回山静教区教化研究会議

平成二十一年三月三日

静岡県伊豆の国市 ホテルサンバレー富士見にて

テーマ「現代における立正安国とは」

基調講演「立正安国に生きた人」石橋湛山先生」

丸山照雄師（山梨県麓坊前住職）

6分散会

全体会議

2、研究・調査活動

【1】左記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ

研究・調査を進めた。

●現代と教学プロジェクト

〈松森孝雄・藤崎善隆・小瀬修達・武藤晃俊・原一彰・丸山賀子各研究員、伊藤立教顧問、有本智心・早坂鳳城・大乘文晴・西口玄修各嘱託〉

①四海帰妙のための教学論（本尊）

②四海帰妙のための教団論（法縁・法脈・法類）

③創価学会・新宗教問題

●教団・教化プロジェクト

〈中村龍央・宇都宮恵禎・馬島浄圭・野村佳正・山田孝行・岩田親静・高橋純子各研究員、影山教俊各顧問、石川修道・馬渡竜彦・野村環右・岩本泰寛・遠藤了暉・成田東吾・鈴木大道・原顕彰・松本真美・松田英秀・伊藤美妙各嘱託〉

①男女共同参画―教化実例収集（現代法華験記）

②過疎地寺院対策

③教師の資質向上（師家制度）

④IT（中央教化センター機能・データ・相互ウ

ェブ会議・現宗研HP）

●現代社会プロジェクト

〈坂輪宣政・大西英充・吉村是修・三好和美各研究員、石川浩徳・望月哲也・新間智照・伊藤如顕・木村勝行・秋永智徳各顧問、石原顕正・川名湛忍・牟田口義隆・小林貫誠・黒木源章・梅森寛誠・灘上智生各嘱託〉

①環境問題―核と環境問題

②立正平和運動―日蓮宗のブランドとしての立正

平和運動

③生命倫理―脳死・臓器移植・クローン技術・終

末医療・尊厳死について

④新宗教活動実態（全国調査）

●日蓮宗近現代資料調査部会

〈坂輪宣政・高橋延定・工藤信人各研究員、伊藤立教顧問〉

●教研会議プロジェクト

〔中村龍央・原一彰・坂輪宣政・藤崎善隆・小瀬修達各研究員、影山教俊・伊藤立教各顧問、西口玄修・灘上智生・石原顕正・早坂鳳城・黒木源章・岩本泰寛各嘱託〕

【2】 研究講座・教化学研究集会・研究懇談会を開催した。

● 第一回大阪市教化研究会議

六月二十日

大阪府大阪市 大阪府社会福祉会館にて

テーマ「あなたのお寺は大丈夫？」

問題提起「寺院を取り囲む諸問題」松井英光師

（大阪府宗務所伝道事務長・大阪府妙政寺住職）

全体会議

● 十月二十八日、第九回日蓮宗教化学研究発表大会を宗務院に於いて開催した。

「大陸における日蓮宗の活動―満州事変以降を中心に―」

坂輪宣政師（東京都妙圓寺修徒・現宗研研究員）

「『伝えるからだ』の探求」

釈 一祐師（岐阜県寶光寺住職）

「歌声で立正安国 世界平和の祈り―響け身延から世界へ―」

大森ゆきゑ氏（神奈川県延寿寺寺庭婦人）

「寿福院ちよ・自昌院満姫の人脈と功績」

石川修道師（東京都法華寺住職・現宗研嘱託）

「『六卷抄』の構造と問題点(二六)―『依義判文抄』を通して(その二)―」

早坂鳳城師（愛知県常唱寺修徒・現宗研嘱託）

「日蓮正宗建立塚原跡碑について」

小瀬修達師（新潟県妙法寺寄在・現宗研研究員）

「宗門運動と檀信徒の関わり」

池上宗俊師（北海道妙寿寺檀信徒）

「日蓮宗の本尊に関する一考察」

塩入幹丈師（福岡県妙立寺修徒）

「『日蓮聖人伝』千字漢文歌」

三谷祥祐師（大阪府観世音寺住職）

「『教学の現代化について』

高佐宣長師（東京都善行院住職・現宗研主任）

「立正佼成会全会員本尊勧請方針発表について」

伊藤立教師（三重県本覚寺住職・現宗研顧問）

「教化上の二処三会―二つの我―」

原 顕彰師（北海道本行寺住職・現宗研嘱託）

「日本が核武装？ 立正安国はスローガンではありえない」

梅森寛誠師（宮城県法運寺住職・現宗研嘱託）

「チベット問題と仏教徒の使命」

園田明宏師（兵庫県妙法寺住職・元宗会議員）

「チベット問題について」

星 光諭師（埼玉県本応寺住職・地涌塾代

表・宗会議員）

### 特別発表

「海外における教化について」

平井 智親（佐賀県泰教寺修徒・開教布教

センター所長）

●平成二十一年一月二十八日、第十九回法華経・日

蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーを、講演を公開

講座とし、セミナー懇談会を宗務院で開催した。

テーマ「創価学会・公明党の動向を考える」

講演「公明党の動向を考える」

福本潤一氏（前参議院議員）

「創価学会の動向を考える」

乙骨正生師（ジャーナリスト）

●三月二日、教化学研究集会を静岡県伊豆の国市サ  
ンバレー富士見（静岡東部宗務所）に於いて開催  
した。

テーマ「法華を識る者は世法を得べきか」

講演「激動する世界経済をどう読み解くか？」

梶原英之氏（経済ジャーナリスト）

●三月二十七日、教化学研究集会を東京都台東区正

法寺（東京都北部宗務所）に於いて開催した。

テーマ「現代社会における人々と宗教の関わり」

講演「典礼権をめぐる」

高佐宣長師（現宗研主任・東京都善行院住職）

### 【3】研究発表

●第六十一回日蓮宗教学発表大会にて研究発表を行



った。

「『大智度論』にみる医療観―龍樹の伝えるイン  
ドの仏教医療について―」

影山教俊師（現宗研顧問）

【4】 研究例会

● 研究員が各自のテーマに沿って研究・調査を行い、  
研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通  
り。

「行学林構想を考える」 中村龍央師

「近世庄屋記録『万波家文書』にみられる近世村

落の寺院」 坂輪宣政師

「中央教研と教区教研のあゆみ」 原 一彰師

「『守護国家論』考―法然浄土教批判について―」

岩田親静師

「『瑞相御書』について」 小瀬修達師

「『いのちに合掌』について考える」 藤崎善隆師

「『宗門』と『国家』（その三）―立正安国の今後

―」 野村佳正師

「『宗教』と『神道』」 山田孝行師

「昭和維新と法華経―政治的日蓮主義の一類型  
―」 大西英充師

「法華経はいかに行じられてきたか」

大乘文晴師

「教化学についての一考察」

【5】 現地調査

松森孝雄師

● 十二月二日～四日、岡山県に於いて研究員現地研  
修会を行った。

● 過疎地寺院対策に関する調査を〔1〕担当者が各々  
の地元にて於いて継続的に行った。

3、出版・資料収集

【1】「現代宗教研究」第四十二号を編集し、全教師に  
配付した。

【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より「平  
成十八年日蓮宗年表」を作成し、全教師に配布し  
た。

【3】「現代宗教研究」別冊として、『宗教法人の公益性  
を考える』を作成し、全教師に配付した。

【4】新宗教関係資料を収集し、保管した。

【5】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

【6】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

【7】今年度購入・寄贈図書のコンピュータ管理のための蔵書整理とデータ作成を行った。

#### 4、研究交流・会議

【1】五月三十一日、東京都品川区立正大学に於いて開催された「第十六回日本近代仏教史研究会研究大会」に参加し、研究発表を行った。

研究発表「岡田資将軍と近代仏教」

木村勝行師（現宗研顧問）

【2】六月五日、東京都台東区大本東京本部に於いて、

「第七回生命倫理研究部会」が開催され、参加した。

【3】六月十三日、東京都大田区朗峰会館に於いて、東京四部布教講習会が開催され、参加した。

【4】六月十七日、宗務院に於いて、教区教研連絡会議を開催した。各教区教研の前年度運営委員代表と本年度運営委員代表が出席して、前年度の報告と本年度の計画を聞き、教研会議運営について話し

合った。

【5】六月十八日、宗務院に於いて、第二十三回「教化センター連絡会議」を開催した。会議では、各センター発行の布教・教化・伝道資料の交換が行われるとともに、センター運営に関する問題点と各センター間の交流推進について話し合った。

【6】六月十九日、東京都新宿区常圓寺に於いて、東京西部布教講習会が開催され、参加した。

【7】八月二十八日、東京都台東区大本東京本部に於いて、「第八回生命倫理研究部会」が開催され、参加した。

【8】八月三十日、神奈川県藤沢市遊行寺に於いて、「第十六回日本近代仏教史研究会 夏期セミナー」が開催され、参加した。

【9】十月七日、京都府京都市西本願寺開法会館に於いて、「第七回教団付置研究所懇話会・年次大会」が開催され、参加した。

【10】十一月十五日、東京都台東区浅草ビューホテルに於いて、「第二十四回世界仏教徒会議 日本大会」

が開催され、参加した。

活動をめぐる学習会」が開催され、参加した。

【11】十一月二十九日、東京都港区日本学術会議講堂に於いて、「日本学術会議哲学委員会 公開シンポジウム」が開催され、参加した。

【12】十一月二十九日、福岡県福岡市九州大学に於いて、「第二十回日本生命倫理学会年次大会」が開催され、参加した。

【13】十二月三日、東京都新宿区日本青年会館に於いて、「第三回宗教と生命倫理シンポジウム」が開催され、参加した。

【14】平成二十一年一月三十日、東京都大田区宗務院に於いて、「第二十一回勸学院研修会議」が開催され、参加した。

【15】平成二十一年二月二十一日、東京都豊島区大正大学に於いて、国際宗教研究所主催公開シンポジウム「宗教の社会貢献はどうあるべきか―二十一世紀の課題―」が開催され、参加した。

【16】平成二十一年三月二十七日、東京都杉並区立正佼成会付属図書館に於いて、「宗教団体の社会貢献